

国語科学習指導案

日時：2005年12月8日(木)5教時

児童：1学年2名 2学年6名 計8名

指導者：

<1 学年>

1. 単元名 みんなにつたえよう
2. 教材名 「みぶりでつたえる」 野村雅一
3. 教材について

本単元は、導入段階で楽しい遊びの中から身ぶりというものについて興味・関心を高め、次に説明文の読みによって身ぶりのはたらき、効用について理解をする。その上に立って、日常生活の中で、人として相手によりよく伝え、相手の気持ちや考えをうけとめるために実際に体験させる。

本教材であるこの説明的文章は、一年生の児童にとってはごく日常的で無意識のうちに体験している身ぶりに焦点を当てて、人と人との気持ちの伝え合いにおいて、身ぶりには言葉と同等、もしくは言葉以上の表現力があることに気づかせるようになっている。

この教材を読むことによって、今まで無意識に行ってきた身ぶりについて、改めてその意味・意義を認め、人と人とのつながりや人に伝える方法などについて考えることができる。

題材は、児童にとって身近で理解しやすいものであるが、そのはたらきについての理論性の理解は、児童にとってけっしてたやすいとはいえない。筆者の考える身ぶりのはたらきについて、自分の日常の経験から身ぶりを思い出し、関係づけながら読み取っていくことで、より深い理解が可能となるであろう。

<2 学年>

つたえ方をくふうしよう

「きつつき」

本単元の導入で「きつつき」のおもちゃを作ってみたいと思った子どもたちに、教材の説明文は、わかりやすく教えてくれる。「一 用意するざいりょう」「二 作り方」「三 上手なうごかし方」「四 ほかのあそび方」と、事柄をはっきりさせて説明している。作り方のところでは、(一)コイルばねを作る・(二)コイルばねをとりつける・(三)きつつきをとりつける、と作り方の順序が記されており、それぞれの内容を、「まず」「つぎに」といった順序を示す言葉を使って、書き進めている。子どもたちは、作るために必要な情報を説明文から読み取っていくことができる。写真も、内容の説明を助けている。

次のおもちゃ大会で、自分の作ったおもちゃの説明を友達にわかりやすく説明できるように、「きつつき」の教材では、作り方や遊び方が事柄や時間の順序よく説明されていることにしっかり着目させ、自分の説明に生かせるようにする。「順序良く説明するとよくわかって楽しい。」という言語体験をさせ、生きる言葉の力をつけることも単元のねらいである。

4. 児童の実態

(1) 全体像

国語科の学習に興味・関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。朝の読書も定着し、楽しんで読書しようとしている。相手に応じて事柄の順序を考えながら話したり、大事な事を落とさないで聞いたりすること、順序がわかるように、語や文の続き方に注意して文章を書くことは今後の課題である。授業の中に視写を取り入れてきたので、成果がみられるが、まだ個人差が大きい。書かれている事柄の順序や場面の様子など気づけるようにサイドラインやワークシートを活用すると概ね読み取ることができるようになってきた。音読については積極的に取り組んでおり、かなり上達してきた。正しく文字を書く力はかなり個人差がある。

(2) 個人の実態と手立て(省略)

5. 教材の目標

■ 身ぶりの特徴をとらえながら、事柄の順序などを考え、内容の大体を読む。

■ 作り方の順序などを正しくとらえながら内容をくわしく読む。

6. 評価基準

◇関心・意欲・態度	全文を読んで身ぶりについての感想を發表しようとしている。
○話すこと・聞くこと	
□書くこと	身ぶりについて気がついたことをメモしている。
■読むこと	身ぶりの特徴について書かれている事をとらえている。
△言語事項	相手に伝わる声で話し合い、また、最後まで聞いている。

◇関心・意欲・態度	手作りおもちゃの「きつつき」を、本文を参考に作ってみようとしている。
○話すこと・聞くこと	「きつつき」の作り方を聞き手に説明している。
□書くこと	大事な言葉を捜し、メモしている。
■読むこと	順序を表す言葉に気をつけて「きつつき」の作り方を読み取っている。
△言語事項	文と文との続き方に注意している。

7. 指導計画

1 学年(全 12 時間)		2 学年(全 13 時間)		
学習内容	評価規準と内容	時数	学習内容	評価規準と内容
○『みぶりでつたえる』を読み、もっと知りたいことや不思議に思ったことを発表する。	◇ 全文を読んで、身ぶりについての感想を發表しようとしている。(発表) □ 身ぶりについて考えたことを書いている。(カード) ■ 語や文としてのまとまりを考えながら、はっきりとした発音で声に出して読んでいる。(観察) ■ 順序を考えながら、内容の大体を読んで感想をもっている。(カード) △ 相手にわかるよう、はっきり発音して読んでいる。(発表)	1		
○ 挿絵と内容とを照らし合わせて、形式段落に分ける。	■ 一字下がりのまとまりをとらえている。(教科書) ■ どんな身ぶりについて書かれているかを読み取っている。(発表)	2	1	○ 「きつつき」という題名を読んだり学習のとびらを見たりして、単元全体の学習内容を知り、見通しをもつ。 ○ 新出漢字を学習する。 ◇ 「きつつき」について、知っていることを話そうとしている。(発言) ◇ 友達の話を、興味をもって、聞こうとしている。(態度) ◇ 知っているおもちゃについて、話そうとしている。(発言) ◇ 友達の話を、興味をもって、聞こうとしている。(態度) ○ 扉の絵を見て、わかったことや気がついたことを話している。(発言) ○ 友達の話を、興味をもって聞き、理解している。(態度)

<p>○ 挿絵と内容とを照らし合わせながら、いろいろな身ぶりについて書いてあることを確かめる。</p>	<p>◇ 挿絵と身ぶりについて、すすんで発表しようとしている。(態度・観察)</p> <p>□ 語と語の続き方に注意して、視写している。(ノート)</p> <p>□ 身ぶりについて気がついたことをメモしている。(ノート)</p> <p>■ 内容の大体を読み取って、挿絵の表している様子を正しく理解している。(発表)</p>	<p>3</p>	<p>2</p>	<p>○ 写真と文章を比べながら『きつつき』の全文を読み、書かれていることのおおよそをつかむ。</p>	<p>◇ おもちゃを見て、「きつつき」の作り方を考え、思ったことを話そうとしている。(発言)</p> <p>◇ 友達の話を、興味をもって、聞こうとしている。(態度)</p> <p>○ 写真を見て、「きつつき」の作り方を考え、思ったことを話している。(発言)</p> <p>○ 友達の話を、興味をもって聞き、理解している。(態度)</p> <p>□ ノートに、全体の順序を指示どおり丁寧に視写している。(ノート)</p> <p>■ 作り方に興味をもって範読を聞き、リポートしている。(態度)</p>
		<p>4</p>	<p>3</p>	<p>○ 「一 用意するざいりょう」を読み取り、表し方のよさに気づき、ノートに書き出す。</p>	<p>□ 用意する材料を丁寧に視写している。(ノート)</p> <p>■ はじめの四行をはっきりと正しく音読している。(読む様子)</p> <p>■ 準備する材料の名前や量にサイドラインを引いている。(教科書のラインの様子)</p> <p>△ 「ぐらい」「ひとにぎり」を動作かしている。</p>
<p>○ 挿絵と文章から、大きく五つのまとまりに分け、まとまりごとに、身ぶりはたらきについて読み取る。</p>	<p>■ 書かれている内容を読み取っている。(発表)</p> <p>■ 身ぶりの特徴について書かれていることを読み取っている。(発表)</p>	<p>5</p>	<p>4</p>	<p>○ 「二 作り方」を読み、作り方の順序を理解する。</p>	<p>○ 「まず・つぎに・そして・これで」などの言葉を使って、話すことを見つけ、話している。(発表)</p> <p>■ 順序を表す言葉を見つけ、順序にしたがって何をするのか読み取っている。(発言・教科書・ワークシート)</p>
<p>○ 第(一)段落を読み、身ぶりはたらきを理解する。</p>	<p>□ 語と語の続き方に注意して、視写している。(ノート)</p> <p>■ 文章の内容の大体を読み取っている。(発表)</p> <p>△ 相手に伝わる声で話し合い、最後まで聞いている。(態度・観察)</p>	<p>6</p>	<p>5</p>		
<p>○ 第(二)段落を読み、身ぶりはたらきを理解する。</p>	<p>□ 語と語の続き方に注意して書いている。(ワークシート)</p> <p>■ それぞれの身ぶりの特徴を読み取っている。(ワークシート)</p> <p>△ 相手に伝わる声で話し合い、最後まで聞いている。(態度・観察)</p>	<p>7 本 時</p>	<p>6 本 時</p>		
<p>○ 第(三)段落を読み、身ぶりはたらきを理解する。</p>	<p>□ 語と語の続き方に注意して書いている。(ノート)</p> <p>■ それぞれの身ぶりの特徴を読み取っている。(発表)</p> <p>□ 相手に伝わる声で話し合い、最後まで聞いている。</p>	<p>8</p>	<p>7</p>	<p>○ 作るときに、注意することをノートに書き出す。</p>	<p>◇ 上手に作りたいという関心をもって、気をつけるところを読もうとしている。(態度)</p> <p>□ 丁寧にノートやワークシートに、作り方や順序を表す言葉を整理して書いている。(ノート・ワークシート)</p> <p>■ 作り方ははっきり音読している。(姿勢・声)</p> <p>■ 気をつけるところに、サイドラインを引いている。(教科書のラインの様子)</p> <p>△ 文と文の続き方に注意している。(態度)</p>

○ 第(四)段落を読み、身ぶりのはたらきを理解する。	□ 語と語の続き方に注意して書いている。(ノート) ■ それぞれの身ぶりの特徴を読み取っている。(発表) □ 相手に伝わる声で話し合い、最後まで聞いている。	9	8	○ 「三 上手なうごかし方」を読み、動き方のおもしろさや工夫することを知り、「四 ほかのあそび方」を読み取り、自分のアイデアも出し合う。 ○ 必要な材料を用意し、文章や写真をもとに「きつつき」を作る。	◇ 意欲的に「きつつき」を作ろうとしている。(態度) ◇ 必要な材料五種類を準備しようとしている。(準備) ◇ 文章を意識しながら、「きつつき」を作ろうとしている。(態度) ◇ 文章を読み、上手にきつつきを動かそうとしている。(態度) ◇ 文章を読み、ほかの遊び方や動きに興味をもって、違いを理解しようとしている。(態度)
○ 第(五)段落を読み、身ぶりのはたらきを理解する。	□ 語と語の続き方に注意して書いている。(ノート) ■ それぞれの身ぶりの特徴を読み取っている。(発表) □ 相手に伝わる声で話し合い、最後まで聞いている。(態度・観察)	10	9		
○ 日常生活の中で、よく使う身ぶりを紹介しあう。 ○ どのようなときに、どのような身ぶりをするか話し合う。	◇ 身ぶりに関心をもって、集め、すすんで発表しようとしている。(態度・観察) ○ 話題にそって自分の考えを話したり、大事なことを落とさないように聞いたりしている。(観察) △ 相手に伝わる声で話し合い、最後まで聞いている。(態度・観察)	11	10		
		12	11	○ 「きつつき」のおもちゃを作った感想を話し合う。 ○ 二～三人組みになって、自分が作った「きつつき」を見せながら、気をつけることなどを加えて、作り方を説明し合う。友達と交換して遊ぶ。	○ 実際に作ってみて、説明のようにできたところ、自分が気がついたことなど話している。(発表) ○ 友達の話を関心をもって、聞いている。(態度)
			13		○ 順序を表す言葉に気をつけて、「きつつき」の作り方を順序よく説明している。(発表) ○ 友達の話を順序に気をつけて聞き、わかりにくいところを聞き返している。(態度)

8. 本時案

(1) 本時について

本時まで形式段落に分け、全体の内容の大体をつかみ、身ぶりのはたらきによって、五つの大段落に分けている。

本時は、ワークシートによる身ぶりとその意味の理解、サイドラインを引いて筆者のまとめている文を探すという二つの活動を取り入れ、児童が自力で正確に読み取る手立てとする。

本教材は、児童と教師による学習計画によって見通しを持って学習を進めていく。

本時は、順序を表している言葉に着目させることで「きつつき」の作り方を読み取る手立てとする。ワークシートは、読み取りの手立てというよりも、本時で読み取った「作り方」と次時で読み取る「注意すること」を対応させたまとめのために利用する。

(2) 本時の目標

○ 第(二)段落(形式段落③④)を読み、身ぶりのはたらきを理解する。

○ 順序を表す言葉に気をつけて「二 作り方」を読み、作り方を理解する。

(3) 本時の展開

〈1 学年〉

〈2 学年〉

評価のポイント *留意点	学習内容と児童の活動	段階	直間	教師の関わり	直間	段階	学習内容と児童の活動	評価のポイント *留意点
	みぶりののはたらきをよみとろう。	①	直	○本時の課題を確認させる	間	④	○漢字小テスト	
*個人読みにつながるように丁寧に扱う。	○音読(つれ読み・一斉読み) ○音読(個人読み) ○個別学習の方法を確認する ○ワークシートに身ぶりとそのはたらきを書き込む		間	○本時の課題を確認させる	直	①	きつつきのとりつけ方をよみとろう。	
■それぞれの身ぶりの特徴を読み取っている(ワークシート)		②	直	○記入方法を指示する	間	②	○音読(個人読み) ○よびかけの文をワークに書き込む ○順序を表している言葉を見つけ円で囲む ○見つけた言葉を確認する ○ワークシートに書き込む	*ノートの学習計画を見させる *確認・指示のときは直接指導
△相手に伝わる声で話し合い、最後まで聞いている(態度・観察)	○読み取ったことを発表する ○身ぶりを動作化して具体的に理解する ○身ぶりについて筆者がまとめている文を探しサイドラインを引く		同時 時間 接	(1年) ○作業の進行状況を把握する (2年) ○作業の方法を指示する	同時 時間 接		○取りつけ方をよみ取りサイドラインを引く	■順序を表す言葉を見つけ、順序にしたがって何をするか読み取っている(発言・教科書・ワークシート) *要約してまとめさせる
*サイドラインの引き方を確かめる	○読み取ったことを発表する ○サイドラインを引いた文を確認する	③	直	○発表したことを板書にまとめる ○動作化をさせる	間	③	○読み取ったことを発表する	
			間	○発表したことを板書にまとめる	直		○まず、画用紙にきつつきの絵をかきます。 ○つぎに、きつつきを切りぬきます。 ○これで、「きつつき」はできあがりです。	
	このようなとき、みぶりはことばのかわりをしています。	④	直	○確認し、板書する ○「このようなとき」は、すぐ前に述べた文の内容をさしていることを教える。	間	④	○交流をもとにワークシートに書き込む	
□語と語の続き方に注意して書いている(ワークシート)	○まとめている文をワークシートに視写する ○音読(一斉読み) ○次時の学習内容を知る ○自己評価 ○漢字小テスト		間	○文の作り方を例示する	直		○個別学習の方法を確認する ○順序を表す言葉を使って文作りをする ○作った文を交流する ○音読(一斉読み) ○次時の学習内容を知る ○自己評価	○「まず・つぎに・これで」などの言葉を使って、話すことを見つけ、話している(発表)
			間	○音読をさせ、評価する ○次時予告	間			
			間	○作った文を交流させる ○音読させ、評価する ○次時予告	直			

【自己評価カード】

【友達の良さやよりよい学習方法に気付く例】

（きょうの学しゅうをふりかえろう No 1） 2年 名前

よくできた◎ できた○ あまりできなかった△ ほとんどできなかった×

だいい	鳥のちえ					
めあて	○鳥のちえを読みとろう。 ○ほかのどうぶつちえをしらべよう。					
月/日	話す	聞く	読む	書く	おしあ	★わかったこと、がんばったこと、もっとがんばりたいことを書きましょう。
9/6	◎	◎		◎	◎	さやさんの言葉みかたがすごかったぞ ぬいぐるみのほっぴょうみたいにした かえりの着ていることがいいとおも いました。 上の子と見比べてみよわ
9/7	◎		◎			まが子みたいにとんどん ほっぴょうできれはよかったぞ たくん読んで。 さやさんのぬいぐるみ たくん見つけられるよ!
9/7	◎	◎				もててきはさしてさいこまきはやく できれはうまくいったと おもいました。

でも、めくほひつだけとなく、たくんじまを見
ることができたわ。 リンゴです!

【自分のがんばりや学習を振り返る例】

（きょうのがくしゅうをふりかえろう No 1） ねん 名まえ

よくできた◎ できた○ あまりできなかった△ ほとんどできなかった×

だいな	みぶりで つたえる					
めあて	○おはなしのじゅんじょにきをつけて、みぶりのいみをよみとろう。					
月/日	おしあ	はなす	きく	よむ	かく	★わかったこと、がんばったこと、もっとがんばりたいことをかきましょう。
11/29					◎	みぶりをつかうとつたえたい ことがほかの人によく つたえられるんだなとおも いました。
11/30				◎		きょうは、みらりのところ をさがすのをがんばり ました。 たくんあやけと がんばったわ。
12/6	◎			◎		きょうはみらりをみ つけるのをがんばり ました。 おはやくみつけることが できたわ。

【学習を振り返り，次時に意欲を持つ例】

〈きょうの学しゅうをふりかえろう No. 1〉 2年 名前

よくできた○ できた○ あまりできなかった△ ほとんどできなかった×

だい名		きつつき				
めあて		○作り方のじゅんじょに気をつけて，くわしく読みとろう。				
月/日	がんばり	話す	聞く	読む	書く	★わかったこと，がんばったこと，もっとがんばりたいことを書きましょう。
11/30	○					<p>これか？とこのように強く強 をしてくのががががりました。 おおやとおおびきて、しかりべんきくし。</p>
12/6				○	○	<p>がしゅう書きてやう書きた がある、えやうのがががりました。 わかりやいんだよね</p>
12/7				○		<p>いいじゆんじゆんは、さきにみつけた 本は「いいねだ」などの話して しかりと先生の話を聞いていたわ。</p>